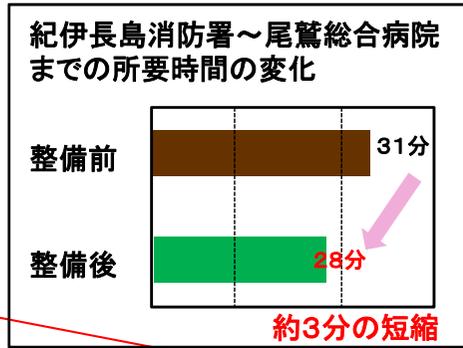
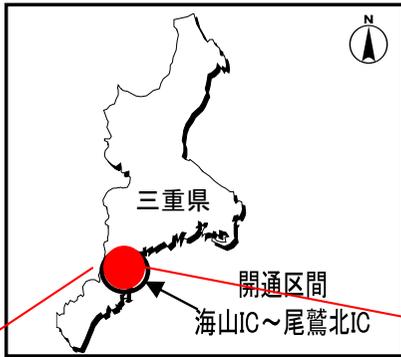
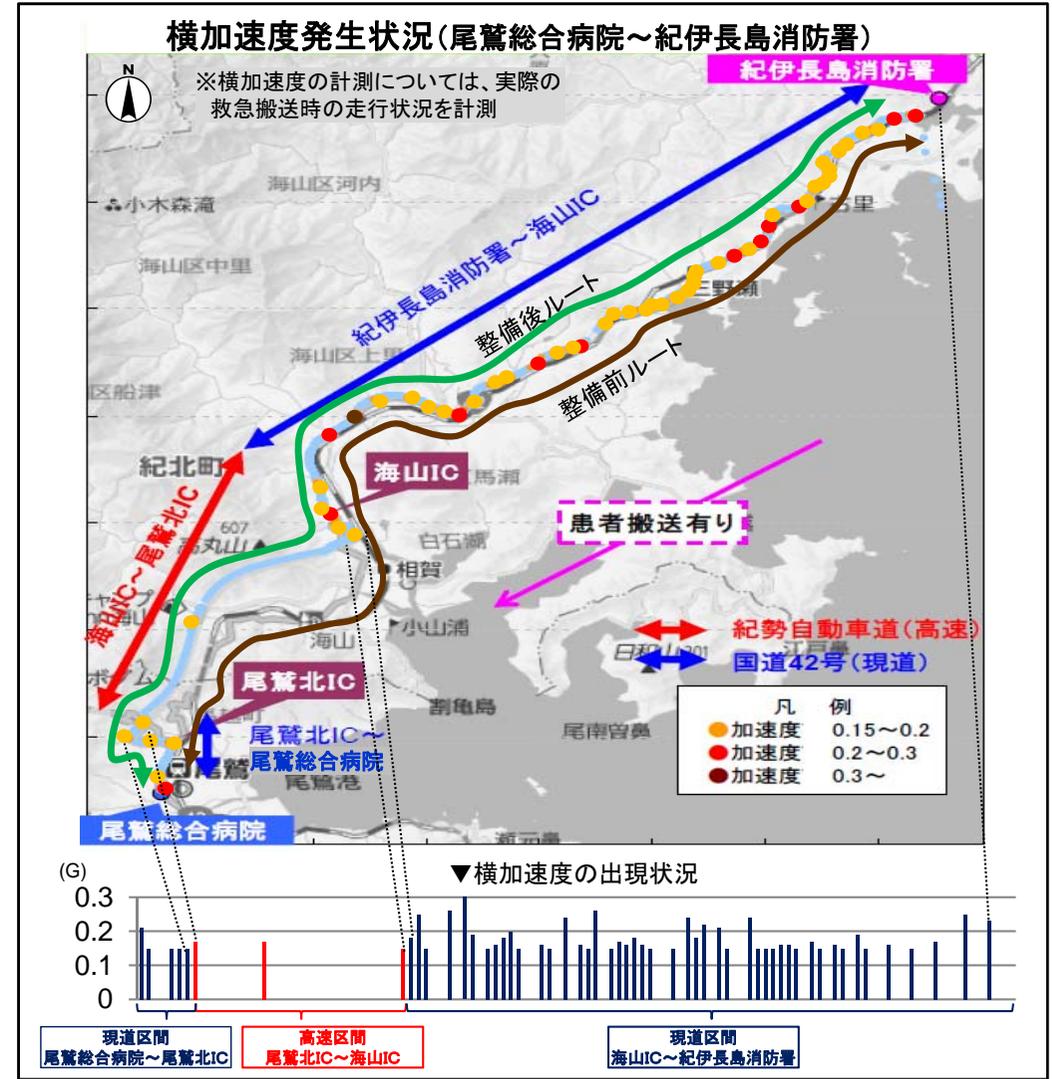


紀勢自動車道の一部開通により、救急搬送に効果

- 海山ICから尾鷲北ICを走行することにより、**所要時間は約3分短縮**。
- 救急搬送時における、**横加速度の発生状況が大幅に減少**となり、高速区間の走行において**患者への負担が大きく軽減**されている。



※患者への負担における指標は、救急医療の安静輸送において、最高血圧の変動量に影響あるとされる**横加速度0.15G**を基準とした。
 出典:『地域の医療を支援する道路構造の分析・評価(第27回日本道路会議)』など諸研究結果



・カーブが多く、登坂・降坂の連続的な峠を避けられたことにより、患者への揺れの負担が軽減されたように思う。
 ・峠では20~30km程度しか出せなかったのが、70~80km程度で走行することが可能となり、時間短縮につながった。
 (消防署へのヒアリングより)